

ゆん・なんニュースレター

第37号 令和2年 11月 10日

朝晩、めっきり寒く感じる今日この頃です。皆様もおかわりないでしょうか？ ゆんたく・なんくるの子どもたちは、時々熱を出して「もしや」と思わせることもありましたが、「知恵熱」？なのが一晩たったらケロっとしています。でも2回目の発熱の際は、かかりつけの病院で診てもらいたいと電話しました。そしたら、オンライン診療で、ドクターと Aちゃんが電話でやり取り、Aちゃんが病院に行かないように、スタッフが診察券・保険証を持って行って処方箋を貰い、薬局で薬をもらってきたという次第でした。Aちゃんはとりあえず、薬を飲んで、次の日はいつも通りに登校しました。体力があるのでしょゆかね。コロナ以後、手洗いは日常生活の一部になりましたが、より清潔に気をつけるようになりました。(子どもではなく大人が)換気もさながら、キッチンの片付けは徹底するように心がけています。「ゆんたく」のキッチン「キッチンゆんたく」でも使う大事な場所ですから。手洗い、消毒は当たり前「New normal」ニューノーマルな時代になってきたようです。

「世界が新しい生活様式に適応」いう記事を読みました。

先ほどの New normal ニューノーマルとは「新しい日常」「新しい生活様式」などと訳されています。以前はノーマルではなかったのに(異常だった)、今では普通のことになってしまった状況です。New normal という言葉は、コロナによって以前の常識がひっくり返ったことをうまくいい表しています。人々は人前ではマスクを着用することが当たり前になりました。サージカルマスクなどは、本来は「外科手術用マスク」という意味ですが、今は一般の人でも着用しています。コロナ以前は、戸外でフェースマスクを着用するのは病人、そしてフェースカバーをするのは、たとえば強盗、というイメージでしたが、世界中でマスクをするのが、新しい日常となりました。マスクと言えば以前はハロウィーンなどの「仮面」「覆面」を思い浮かべる言葉でしたが、コロナ後の世界では「マスク」はまずフェースマスクを思い浮かべるようになりました。伊藤サムさん「元ジャパンタイムズ編集局長」の記述より

ゆんたくホームのゆんたくさびら

(おしゃべりしましょう)



登校前に毎日、体温を測っている A ちゃんが「37, 7度ある！」と言いに来た時は、『エ～やばいかも』と思いましたが、ホントに知恵熱だったように翌日は36℃台に下がってホッとしました。いつなんどき、誰がかかっても不思議ではないコロナですから。でも実際に、そうなる私たちホームのスタッフは「濃厚接触者」として、隔離されるのでしょうか!? コロナのワクチンが出来るのは、いつでしょうね。巷ではインフルエンザの予防接種がなかなか受けられないという声が聞こえています。この時期、希望者が多いそうですよ。

なんくるはなくなるないさ～

(なんとかなるよ～)



B ちゃんは先日、行事で旅行に行ってきました。GoTo キャンペーンを利用し、京都府内を旅行したようです。雨が降ったり止んだり、あいにくのお天気でしたが、「疲れたあ!!」と言っている B ちゃんは笑顔で、とても楽しめた様子でした。GoTo クーポンで購入したカップラーメンを持ち帰り、美味しそうに食べていました。皆、体調も崩しやすいので、休める時にはしっかり休んで遊べる時には思いっきり遊び、日々を満喫してほしいです。





らいげつ 2020年
来月のキッチンゆんたくのご案内
 あんない

12月17日(第3木曜日)開催
 かいさい

よてい
 予定メニュー

- ・ゆんたくカレー?



11月のキッチンゆんたく
 メニュー

- ・ゆんたくカレー
- ・キャベツサラダ

テイクアウトです!!

5:30~6:30の間に
 もらいにきてね。

子ども 50円

大人 100円

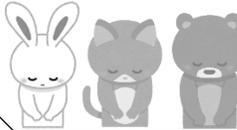
マイバッグ、持ってきてくださ〜い

Thanks

きょうとさま ぎょうざ
 フードバンク京都様からは餃子を除くキャベツ以下、10月
 のキッチンゆんたくの食材を全て提供していただきました。
 さい すべていきょう
 (大助かりでした)
 おおだす

きんりん かいしゃ きんいっふう だいじ
 近隣の会社K様から金一封(大事に使わせていただき
 ます。)

Thanks ♪



かみしばい えほんしょうかい
 紙芝居・絵本紹介

『14ひきのあさごはん』

さく 作・いわむら かずお

「おとうさん おかあさん おじいさん おばあさん そしてきょうだい 10ひき。ぼくらはみんなで14ひき
 かぞく。」で始まる自然の中で生活する野ねずみの大家族の物語です。「ひっこし」「やまいも」「さむいふゆ」「ぴ
 くにつく」「せんたく」など、『14ひき』は12のシリーズがあり、四季折々の日常生活を通して家族団らんの喜
 びを描いています。昆虫や小鳥などの動物!草花!フィールド大好きの人にはお勧めの絵本です。



<あらすじ>

もり あさ いちばんはや お
 森の朝、一番早起きはおじいさん。おかあさん、おばあさん、子ども達も次々に目を覚まし、起きてきま
 す。なにしろこの家にはみんなで14ひきの野ねずみの大家族が住んでいるのです。

つめ みず かお あら
 冷たい水で顔を洗い、さて朝ごはんのしたくです。野いちごつみに出かけるのは、兄弟一番上のいっくん。

ついでいくのは誰?あれ、くんちゃん。まだ小さいのに大丈夫かな?広い森の中で、無事に野いちごを見つ
 けられるかな? おとうさんたちは火を起こし、作っているのは特性スープ。台所で行く粉を丸めて作
 っているのは何でしょう?焼きあがったのはふっくら美味しそうなどんぐりパン!いっくんたちが森から帰
 ってくる頃、もうお腹はペコペコです。大きなテーブルにお皿とスプーンとみんなで作った朝ごはんを並べ
 て…さあ、きょう いちにち
 て…さあ、きょう いちにち

て…さあ、きょう いちにち

て…さあ、きょう いちにち

て…さあ、きょう いちにち

て…さあ、きょう いちにち

て…さあ、きょう いちにち